

自動車部との握手はなされた。本部は十月二十七日の発行委員の決定を以て、各支部宛十一月四日定期合同大会開催に關する通告を發した。斯くして今日午後二時から芝公園協働組合館に於ける臨時會議、電車、自動車、非乗務各部の代議員列席の昭和八年度八會、行なわれた。

大会前に於ける諸情勢からして、大会過程に就いて多分興味が持たれた。併し、これと終始して、各部代議員は、事に対する論議を避けて、表面的波乱を極力制せんとするの運動が看取せられた。

出席代議員總數

二八九名(定員三一〇名)

内譯

電車部	一六五名
自動車部	五七名
車庫部	二四名
軌工部	一九名
電力部	一三名
工場部	一八名
電気部	一四名

一、組合の統一強化で第二更生案粉碎

一、反動ファツシヨを叩き出せ

一、大会を通じて逆襲斗争へ

一、大衆の圧力に依つて団体協約を締結しろ

一、我等の城塞東支を牢北

一、全国交通労働者の大同團結へ

一、東京交通労働組合大会万才

以上七項目のスローガンを掲げて、司会者掛札盛(電車錦糸堀)は開会の辞を述べ、議長河野平次、副議長熊本利男、内海寅吉以下各種委員の選挙の後、関東労働組合会議代表加藤勤十、市議浅沼稲次郎、大阪市電自働会代表石原猪造外十余名の祝詞、並に外訳文程団体よりのメツセージ、祝電の披露に入った。

加藤勤十は電気局第二更生案を控えての東支合同確立の意義を説き、浅沼稲次郎は東京市政の内情曝露から電気局長移動と第二更生案による所謂彈圧に及び、東支の確固たる存在を希望した。

次に大会は、(1) 組合統一活動、(2) 第二更生案紛争準備活動、(3) 中岡ボギー車應援車掌罷止反対斗争等七項目に亘る経過報告(内海寅吉、早稲田)及び会計報告(高橋藤藏、三田車庫)が